

文章のリフォーム

—— 推敲すいこう

国語監修・執筆

幸田国広

■ 今回のポイント

- ① あらたまった文章では略語やくだけた表現など、話し言葉は避けよう
- ② 文末の表現は統一しよう
- ③ 書き終わった文章は、必ず見直そう

① あらたまった文章では略語やくだけた表現など、話し言葉は避けよう
誰に読んでもらう文章なのか、読み手や場面を考えて、それにふさわしい表現を心がけましょう。

② 文末の表現は統一しよう
「だ・である調」か「です・ます調」か、どちらかに統一し、混在しないように気をつけましょう。

③ 書き終わった文章は、必ず見直そう
他人の目になって見直してみると、思いもよらないミスに気づいたり、よりよい表現を思いついたりします。

■ 今回の言語活動

■ 推敲とは

推敲とは、書き終えた文章を再度、読み直し、誤解される表現やミスがないかをチェックし、書き直すことです。語源は、唐の時代のある詩人が書き終えた自作の詩を見直して、

僧は推す月下の門

とするか

僧は敲く月下の門

とするか、どちらがよい表現か深く考えたという故事に由来します。

▼文章を推敲してみよう

次の文章は、あなたが志望する大学への推薦入試で提出した志望理由書だとします。誤りや誤解される表現がないかを確認し、修正してみましょう。

私は高校3年間、バスケット部に所属しマネージャーしながら勉強との両立を目標としてきた。その中で学んだことはたくさんあるが、特に、みんなとの協調性である。

📌ポイント

- 縦書きの場合は、漢数字を使う。
- 省略語は使わない。
- 一文があまり長くないようにする。

ふだんの練習の時も試合の時もそうだが、一人一人が自己主張したり勝手なプレーをしたらよいチームにはなれない。お互いのことを思いやる想像力が大事だと思いました。それはマネージャーの最も難しい仕事でもありました。

📌ポイント

- 文末表現は統一する。
- 話し言葉は使わない。

貴校の学風は、自立との強調であり、バスケット部で学んだことをぜひ生かしてみたい。また、体育学部ではスポーツ栄養学を学びたいと思っっている。そして、未来は栄養士目指してがんばりたい。

- 📌 ポイント
- 適切な語句を用いる。
 - 誤字に気をつける。
 - 段落を作るときは一マス分下げる。

※番組中に解答例が示されているので確認していきましょう。

■ 今回のまとめ

最後のマスを埋めたら出来上がり、ではなくて、書き終えたと思ったら、もう一度、見直してみましょう。そうすると気づかなかったことや新たな発見など、いろいろなことが思い浮かんでくると思います。

また、今回学んだ推敲の観点を意識しながら文章を書くように習慣づけると、自分の文章表現に自信が持てるようになります。実践してみましょう。